

## 経済ボケツ ジャーナル



★シンポ「ポートピア後の神戸を考える」に三百人

博覧会は成功したが、大切なのはポスト・ポートピア。9月24日、神戸商工会議所が主催してシンポジウム「ポートピア後の神戸を考える」が西山記念会館で開かれた。

作家の小松左京氏による「今こそ神戸は世界にむけてベンチャースピリットを発揮する時だ」と主張する



ポストポートピアを考えるパネラーたち

基調講演に引き続いて、宮崎辰雄氏（神戸市長）、中内功氏（タイエー社長）、塩谷忠男氏（太陽神戸銀行頭取）、牧冬彦氏（神戸製鋼所副社長）、

新野幸次郎氏（神戸大学経済学部教授）、小松左京氏（作家）によるパネル討議が行なわれた。討議は博覧会の成功を契機にした国際文化都市、コンベンションシティづくり注目した意見を

中心に進められたが、中内氏は「環太平洋の中心としての神戸を情報の拠点にする」ことを提案。小松氏も「博覧会後一年間がチャンス」と話し、官民一体となつての都市づくりを考えなくてはならないとの課題を残して3時間にわたるシンポジウムは閉会した。

★観光地北野に新名所

三星堂新社屋完成

医薬、医療の総合商社株式会社

三星堂（上林英一社長）の新社屋が11月末に完成する。三星堂の本社屋といえ、大正15年に建設され、今年

の2月、当時の新聞や礎石などの入ったタイムカプセルが発掘されて話題になつ

たが、ドイツ人のクラブ「コンコルディア」として使われていた由緒ある建物で、今回の新社屋建設によって姿を消すため、新社屋の外側に定礎プレートをはめ込んでこれを記念している。また、北野町の観光客の往来の激しい北野坂に面しているため、前庭を広くとつて、植樹や時計台の設置など景観保全



三星堂新社屋完成予想図

にもひと工夫している新社屋は60台収容の駐車場を地階に、地上3階建の建物

★ジョン・ワイツ婦人服

機能性を追求して新発売メンズファッションで長年の実績をもつジョン・ワイツが81年秋冬より婦人服コレクションを発表した。

★KOBEOフィスレディ



吉崎有香さん（18）  
△三菱電機制御製作所 整流器部高電圧設計課V 御影工高電子科を出て、三菱電機へ「やりた仕事につけてよかった」と、女の子は少なく、皆かわいがってくれるとのこと。野球やサッカーを応援するのが好きで、巨人の篠塚選手のファン。BFはやはりサッカー。高倉健さんのような無口で、男らしく優しい男性が理想。一人っ子。やさ座。自慢のパスは90



ジョン・ワイツ氏

販売に当る大丸では、9月21日、大阪ブラザホテルで同社取締役営業本部長の北尾信一氏が同席のもと、来日中のジョン・ワイツが記者会見に出席し、新しい分野の婦人服を説明した。

# コンベンション・シテイ 神戸の積極的展開を

柏井 健一

〈柏井紙業株式会社社長  
神戸商工会議所情報文化部長〉

鈴木 謙一

△鈴木齒科器材株式会社社長▽

中内

力

〈神戸ポートピアホテル社長  
神商議情報文化部会コンベンション・シテイ  
推進小委員長〉

多田

栄治

△神戸国際交流協会常務理事▽

—このほど神戸商工会議所情報文化部会から『コンベンション・シテイ神戸をめざして』と題する報告書が出ました。ここで言うコンベンションとは、大会とか会議という意味ですが、同報告書の巻頭には、「コンベンション・シテイは21世紀に向けて再び神戸が国際情報都市への復権を宣言するものである」と唱っています。その中では、神戸国際交流基金の創設、産業文化センターの設立などいろいろな提言が行われていますが、今回は、コンベンション・シテイについてお話しをお願いします。

神戸は日本唯一のコンベンション・センターをもつ

柏井 情報化時代ということが言われて久しいのに、そういう部会が商工会議所にはない。そこで、サービス産業を集約して情報文化部会ができました。それが昨年の一月のことで、その時点で、神戸ポートアイランド博覧会の成功は、まず、間違いないだろうと考え、それでは、ポスト・ポートピアでは、何を一番に考えなければいけないかに論議を集中しました。

そこに出来たのがコンベンション・シテイです。

もちろん、コンベンション・シテイの構想は、博覧会以前にも出ていたわけです。ポートアイランドでのホテ

ル計画と平行して出ていた。そこで、情報文化部会としては、コンベンション・シテイを取り上げようということと、今年二月にコンベンション・シテイ推進小委員会をつくり、ということで積極的に取り組んで来ました。コンベンション・シテイは、単にコンベンションのための諸施設だけでなく、都市の機能、環境、イメージ、観光資源、アクセスなどの諸条件を含む都市全体、さらに神戸だけではなく、関西、近畿というより広いエリアのなかでとらえないといけないと考えております。

中内 コンベンション・シテイの構想の基になっているのは、ポートアイランドのインターナショナル・スクエア(ISSQ)計画だったわけです。今から三、四年前に神戸市の方で方針が決められた。そのときにISSQにホテルを建てようと考え、いろいろと研究をしました。

柏井さんの方からはマクロ的に説明があったのですが私はホテル経営というミクロから追求しました。神戸に神戸らしい近代的な国際ホテルを建てるための条件とは何かをいろいろと研究したわけです。

神戸は、戦前は港によって世界への日本の玄関だったので、世界中から国内からどんどん人が集ったわけですが、最近は港湾の物流が中心となって人があまり来な





柏井 健一さん

くなった。ホテルを建てて、それを維持して行くためには神戸に人を集めないといけないという観点から研究した結果、神戸がこれからめざすのは、コンベンション・シティだということになった。コンベンション・シティとか、コンベンション・センターとかいうことを日本で最初に言い出したのは神戸じゃないか、と思います。

その後、ポर्टアイランドにもいろいろな施設が具体化して来た。博覧会は、ポर्टアイランドの完成のお披露目ということもあったのですが、ある意味では、神戸のコンベンション・センターのこけら落としということで行われたと思います。博覧会が終ったあと、神戸の将来の発展の方向として、このコンベンション・シティ構想は非常に大きな柱になって来ました。

鈴木 最初に今回のコンベンション・シティ構想の前提のようなお話をさせていただきます。

私は昨年、大阪府の産業ビジョンづくりのお手伝いをしたのですが、これは、産業ビジョン<sup>80</sup>といまして、自治体の産業ビジョンとしては初めてのものだと言われています。そのときに、副題に、個性からの出発―生活文化産業 国際化の進展をめざして、とつけた。一番の



鈴木 謙一さん



中内 力さん

ポイントは、もう地盤沈下とか、陳腐なことは止めよう。自己卑下は止めよう、ということなんです。今、あえて大阪の話をしたのは、この副題は普遍性をもっていると思うんです。そのまま神戸に当てはまると思う。

府の方で生活文化産業振興方策を具体化して欲しいという要請がありまして、実は私はその方をやっているのですが、大阪と比べてコンベンション・シティ神戸は実現性がある。自分自身が参加していて、非常に希望があると思っています。逆に大阪の場合は、私は虚しさを感じた。ビジョンは書いたけれど、果して実現できるのだろうか、という意味で虚しさを感じたわけです。

なぜ、その違いが出るかと言うと、文化はソフトだと思うのですが、私は、ハードがないと生きないと思う。大阪に虚しさを感じたのは、いいアイデアを出してもそれを実現する場所がない。神戸の場合は、コンベンション・センターがすでにあるわけです。神戸国際交流協会の管理運営する国際会議場、国際展示場、神戸貿易促進センター、それに隣接して一一〇〇名を収容できる神戸ポर्टピアホテル、さらに市民広場、スポーツセンター、科学博物館などが結集し、日本で初のコンベンシ



多田 栄治さん

ン・センターができた。

今まで神戸は実験都市だといわれ、神戸発のものがよそで大きくなったり、アイディアは出すのだけれど、それもよそに取られるとかということが多かったのですが、今度のコンベンション・シティは、すでにそのセンターがあるということで実現性があると思います。

多田 国際会議場は三月一日にオープンしました。端的に言ってこの六カ月余は、申し込まれた会議を、いかにスムーズに運営していただくように事務局がサポートするかということに精いっぱいであったということです。九月一五日に博覧会が終了するまでに、五四一件の会議、一般演目をこなしました。そのなかには、国際会議が九件入っています。スケールではもっと大きな国際会議やイベントもあるでしょうが、種類においてはひとわたり全部当たったのではないかと、という気がします。

ポスト・ポートピアの問題としては、いかに多くの会議、いかに多くのイベントを自分の施設に引きつけて、この町の賑わいを保って行くかということです。全員がセールスマンだという考え方で、神戸市内はもちろん、東京をはじめ遠方まで積極的に乗り出して行くべきではないかと思っています。

それと、コンベンション・オルガナイザーの専門会社との関連ですね。コンベンション・オルガナイザーは、コンベンションの誘致機能を果たすだけではなく、関連業界を取りまとめ、コンベンションを円滑に進める総合調整や演出の役割を担っており、これらの関連業界の育成も今後、大きな課題になって来るわけですが、そういうノウハウをもっている会社の仕事と館側がいかに歯車をうまく組み合わせて行くかについても、今後もっともっと勉強をしないといけないと思っています。

まず、ベースになるコンベンションを誘致する

鈴木 ところで客観条件は非常に有利だ。世界の流れが神戸にとって是有利だと思います。なぜかと言いますと、

文化でも、ワンウェイ受身の文化ではなくツーウェイ、一方的に話を聞くというのではなく、お互いに話し合うということが非常に大事にされている時代ですね。これを一言でいうと、画一文化や複製文化に飽き足らず、本物志向が非常に強まって来た。たとえばテレビのように一方通行のものをみているだけでは満足できなくて本物が見たくなる。それが、コンベンション成立の一つの大きな条件ですね。

国際化ということが、ますます言われるようになっていますが、国と国との交流ではなく、本当は民間交流が主体でなければ意味がない。そして、民間交流は今後ますます進むであろうと思われる。民間交流が主体になって行くということは、神戸がコンベンション・シティとして発展する条件になると思いますね。

柏井 そういう需要の高まり、広がりがあるのは事実ですね。このチャンスをつるに利用できるように、神戸としては考えないといけないですね。

鈴木 その通りですね。今言いました本物志向は、必然的に地域の時代の到来を意味します。それは、また、文化の時代に通ずる。このように、地域の時代と国際化時代は文化の時代を象徴します。いわば、産業が文化をリードする時代ではなく、文化が産業をリードする時代であり、それには幅広い人間交流が欠かせない条件ですね。その意味で、コンベンション・シティ神戸はその実現の客観的条件が非常に有利だと思います。

中内 また、ハード面でも一層の充実が必要ですね。とりあえず、国際会議場、国際展示場、ホテルの三点セットはできたのですが、現在の規模では、まだ、不十分だという点がありますね。

コンベンションにも経済単位があるということです。最近では、最底千人から二千人のコンベンションが経済単位になっている。メインホールが七百人というのは、ちよっとコンベンションがやりにくい。七百人を対象にコンベンションをやると、七百人を集めるということでは



ロバンをはじめないといけない。そうすると、いろんな面での金銭的制約がコンベンションにかかって来る。そういう意味では最低、千人あるいは千五百人という単位でコンベンションを企画すれば、もっと内容のあるコンベンションが計画できるのではないか、という指摘も大分いただきました。そういう面で、ハード面の一層の充実も必要だと思うし、ソフト面にしても現在のところ殆んどないわけです。ただ、神戸はコンベンション・シティとしての条件としては素晴らしいものをもっており、日本を代表するコンベンション・シティとして成立する可能性は十分にある、という自信はもてると思います。

多田 先天的要因はすでに備っているということですね  
中内 コンベンションは、町のイメージとの関連度が非常に高い。緑の山、青い海、近代的な町並み、さらに、日本の中心的な場所にあつて交通の便もいい。そして、観光的要素もある。神戸ほど素晴らしい条件をもったコンベンション・シティはないでしょうね。

鈴木 視野を広げて世界の神戸ということで、ピー・アールする必要があるのでしようね。

中内 コンベンションには、二つの種類があると思います。一つは、そのコンベンションは必ずその都市のその場所で開催されると決っているものと、もう一つはもち回りですね。これは、東南アジアを含めてもち回りでやる。あるいは、もっと広く、世界中を回って行くものですね。神戸としては、もちろん両方を考えないといけません、やはりベースになる、毎年、あるいは二年、場合によっては四年に一本でもいいのですが、必ず神戸のコンベンション・センターで開催されるベースのコンベンションをまづつくる必要があります。

柏井 そこでメッセ(国際見本市)との関連が出て来る。展示場と会議場をもっているのは日本では神戸だけで鈴木 メッセか、コンベンションか、という議論はする必要がなく、総合的に考えるべきですね。相関関係があるわけです。もち回りは、国際的にも、国内的にも大事

ですが、特に国内で危険なのは機能分担論ですね。たとえば、神戸に国際会議場が出来たので京都はさびれてしまったという話を聞くのですが、そこで機能を分け合うという話になることです。いい意味で機能を分け合うのはいいのですが、安易に考えると非常に危険だ。お互いに競争をしていい企画をするということが大切です。

中内 やはり地域特性を生かすということですね。たとえばアパレルにしても、日本の伝統的な着物は京都をおいては考えられない。ところが、ヨーロッパファッションとか近代的なファッションでは京都でやっても似合わない。これは神戸でやる。神戸は神戸らしいコンベンションやメッセを創造していくべきですね。

多田 神戸にふさわしいコンベンションを地道につくり上げて行くことが大事ですね。それが、たとえば、映画なら神戸映画祭という話になり、芸術の展示では、ビエンナーレ、トリエンナーレの話になって出て来ているわけですね。定着というのは一つの大きな要素ですね。柏井 そういう意味では、今度できるファッション街区は常設メッセみたいなものです。

中内 ファッション・タウンとコンベンション・センターは完全にリンクされていますね。

柏井 それを補完する意味で国際展示場があるわけですから、楽しみながら学べる産業文化センターの設置を

中内 今後のコンベンション施設の整備としては、アリーナ(屋内競技場)があります。一つのサンプルは東京の日本武道館です。アメリカでは各都市にアリーナが設置されている。これは非常に多目的に使える。大体、ボクシングとか、プロレスに一番向いている。周りが全部立体的な観客席で、四方から同じ条件で舞台が見られるというよさがある。中央部は案外と狭いので、会議をやった場合でも非常に有用なわけです。どうしても最大で一万人から一万二、三千人入れる施設が必要ですからね。この程度の人数なら今のポर्टライナーの輸送能力で十

分です。足の問題はないと思います。

多田 来年の三月から毎年、国際ポートショーを開くのですが、ポートショーの目玉はヨットですね。ところが会場にはヨットが入らないので、屋外の駐車スペースを借り切つてやるのですが、アリーナでヨットの展示をする要件はたった一つ。入口の大きいのをつくればいい。中内 アリーナの中央部は展示にも使える。だからヨットのような大きな展示物が搬入できる開口部が必要ですが、アリーナの床はウエイトは無制限。どんな重量物をもつて来てもいいという条件を備えないといけない。スポーツにもコンベンションにも展示にも使えるという大規模、多目的施設がアリーナです。

鈴木 コンベンション・シティとして考えた場合、経済性、収益性も大事なんです。あまりそれに拘わらない方がいいですね。ポートアイランドをつくるのに一四、五年かかっている。その核であるコンベンション・センターが本当に完成するためには、二一世紀を展望しないといけない。だから、目先のことでがんじがらめにしてしまわないで、将来の展望を踏まえて、ある程度、情勢によって変わることが必要ですね。それと、もう一つは、人間交流の場ですから、未来都市だとこに澄まして人形の家みたいにして、人間が散策できるような雰囲気も必要ですね。ポートピアが祭であつたように、コンベンションもまた、人を引きつける祭です。

柏井 経済性の追求ばかりを考えないことです。中内 それと、産業文化センターの設立の提言ですね。実は、当初からコンベンション・センターに常設展示場をつくるという話があつたのですが、それが発展したものが産業文化センターだと思います。

鈴木 美術館とか展示場という型が決つてしまう。そういう固苦しいものではなくて、現代科学の成果を伝達するために、ファッショ・ショーやエレクトロニクス応用技術、遺伝子工学の成果、新素材、ロボット利用などについて、芸術性と娯楽性をとり入れた先端産業の

展示を行い、市民が親しみをもつて先端産業を理解できるようにする施設ですね。

中内 これができるかできないかが、コンベンション・センターが成功するかしないかの大きな要因になる。というのは、他の施設はコンベンションなどのイベントのあるときに計画的に利用される。市民や外から来られた方がぶらつとそこへ行つたときに、新しい文化や技術に触れるようなものが常設で展示されていることが必要になると思う。ここへ来れば、エレクトロニクスとか、省エネルギーの新しい技術とかが常時、いろんな形で展示されているということは、非常に大きな意味があります。

柏井 神戸市が常に言っている憩い、集う町ということが、こういうものによって実現化へ向かうわけですね。

鈴木 結局、これは、パリのボンビドー芸術センターの主旨を生かしたものです。故ボンビドー大統領が、すべての芸術、美術、音楽、さらに学術にいたるまでを一つの屋根の下に集めて、直接、作家と市民が触れ合い、民間の文化のレベルアップを計るという考えによって建設されたものです。その主旨を生かすものです。

柏井 今の産業文化センターの設立、アリーナなどのコンベンション施設の整備、コンベンション・オルガナイズーなど関連業界の育成など、コンベンション・シティとしての魅力度の向上と便益性強化のためのいろいろな施策が話に出たのですが、もう一つ、神戸交流基金の創設を提言しています。これは、ポートピアの剰余金の一部を基金として、コンベンションの神戸開催に対する助成制度を設けるなどして、神戸の国際交流事業を積極的に推進する。これは、また、ポートピアの精神を生かすことでもあると思います。

いずれにせよ、ポートピアに千六百万人が来た。日本だけではなく世界からも人が来たし、相当な知識人も参加していた。この流れを絶やすことなく、コンベンション・シティへどうつないで行くか。これが今後の大きな課題だと思います。

(ブランドウプランにて)

### 田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作  
神戸市中央区旅塚通 6-3-10  
TEL (078) 231-3321

### オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉  
神戸市中央区伊藤町121  
TEL (078) 321-2111

### カネボウベルエイシー株式会社

取締役社長 稲岡 必三  
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807  
センタープラザ東館 8F  
TEL (078) 392-2101

### 株式会社ベニヤ

取締役社長 松谷 富士男  
神戸市中央区三宮町1丁目10-1  
TEL (078) 332-3155

### モロゾフ株式会社

取締役社長 葛野 友太郎  
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号  
TEL (078) 851-1594





# シンガポールで神戸二紀が美術展

シンガポールではここ10年にわたって「日本文化節」が毎年3週間開かれていた。これはシンガポールの国民に日本の文化に接触する機会をつくり、すぐれた日本文化を大いに吸収させカルチャー・ショックを与えようというシンガポール政府の行事である。

今年度は日本からは音楽、舞踊、書道、映画、民族芸能などが参加したが、美術部門では二紀会兵庫支部（理事長中西勝氏）がその出展を引受け、9月5日から9月10日までシンガポール国立近代美術館で展覧会を開いた。

二紀会兵庫支部―神戸二紀ではこの美術展のために絵画の作品52点をシンガポールに空輸し展覧した。

この「日本シンガポール文化交流展」にあたり、神戸二紀のメンバー15名、中西勝、大西敏巳、高崎研一郎、大童徹、上西良一、小原実知成、佐野弘利、松下元夫、



緑に包まれて美しいシンガポール

山崎朔三、渡辺照定、瀬戸和夫、丸山百合子、森恵、八木茉莉子、栗谷房代さんなどを中心に文化交流使節団を編成（团长、神戸輸入促進フォーラム理事長田嶋克巳氏）元町画廊社長佐藤廉氏や六甲ライオンズクラブのメンバーも参加、総勢31名の使節団がシンガポールを訪問した。

9月6日、同美術館でオープニングセレモニーが星日文化協会の主催で開催され、シンガポール文化関係者も多数が出席、在シンガポール日本特命全権大使中島敏次郎氏が出席して祝詞を述べた。また、星日文化協会長鐘伯郡氏から感謝状が神戸二紀に贈られた。神戸二紀を代表して、中西勝氏が「これを機会に是非ともシンガポールと神戸との文化交流を深めたい」と熱のこもった呼びかけをした。そして、日本の児童画50点などを贈った。このシンガポールでの滞在中、



シンガポール国立近代美術館



オープニングで挨拶する中島大使



ワールドトレードセンターを見学



星日文化協会の肝入りで3度、4度におたる交流パーティが開かれたが、シンガポールの画家の沈雁さん（シンガポール芸術学院長）は二科入選の作家でもあるが、神戸二紀のレベルの高い作品に感激し終始、神戸二紀メンバーとシンガポールの作家との交流の介添えの役割を果たしていたのが印象的であった。

勿論、シンガポールは公園都市国家を標榜する街であるが、都心部、住宅地ともに緑に包まれた街のたたずまいは素晴らしいの一語に尽きる、美しさであった。

何分、都市国家であるから、その都市規模も雄大である。また国全体の行政も行届いており都市としての活力も、目覚ましいものがある。

シンガポール通産省、経済開発庁長官の NGIAM TONG DOW さんの好意で「シンガポール・ワールド・トレード・センター」に建設中のコンベンションホールを見学することができた。このトレードセンターは常設展示場をもっているスケールの大きなものである。さらに田嶋克巳氏（神戸輸入促進フォーラム理事長）と目下建設中のチャンギー空港を視察した。案内下さった



シンガポール風景をスケッチする中西画伯

のは同庁日本高等官の李金発、鄭清江のお二人である。

国家都市シンガポールの活力源はつまりフリーポートであるということに尽きるのかも知れないが、政府の施策も筋が一本通っているようである。

「現在、チャンギー国際空港の航空機の発着は200機であり、シンガポールの港には毎日200隻の船が入っています。訪問客は81年度は790万人が見込まれている。

チャンギー空港のエアカーゴ総量は80年度177、000トン、年々6%〜7%の伸び率である。第一期事業費が1、500億円、第二期工事が500億円、竹中工務店が工事を請負っているが、大規模な世界的規模の空港であり83年12月竣工の予定」ということであった。

今回シンガポールと神戸二紀の交流について中西勝氏は「やはり、国際交流というのは新鮮な感動がある。美しいシンガポールもいいが画家達はシナ人街やインド人街などを喜んでスケッチしていた。神戸二紀展にシンガポールの作家が参加できるようにしたい」と話している。

△取材／小泉康夫▽



オープニング・セレモニーに全員集会



星日文化協会からベントを受ける神戸二紀



最後のお別れパーティに星がきれいだった

# 北野町群像

★北野町界隈の魅力づくりについての提言

北野町界隈のユニークな街づくりは、今、全国的な注目を集めている。そして地元神戸でも観光の最大の拠点になった。街の若い人たちがこの街づくりの中心。ハレの場所、最も魅力ある界隈づくりがつけられようとしている。



赤木清士

山崎良平

大村幸一

菊地吉弘

若山晴洋

三浦明定



東郷武久

福野輝郎

打間奈津子

美木 剛

植木 督

平田和子



岡添幸子

木下章夫

浅木幸雄

渡邊 仁

吉田健一

船橋雅人



白石弘子

岩本文夫

草刈 徹

蔵本和憲

大里最世子

吉谷博光



高橋洋三

藤本ハルミ

加納 勝

増田伸二

辰巳太郎

金森博子



## 北野町界限をより魅力のある美しい街に

三浦 明定

ハクインズコート・キングス  
コート、英国館オーナー  
6月に世界一周をして観た中で

最近の人々は物をハントする。そして文化やふれあいや街の情緒を欲しがっていますね。それはテストな趣味の良い情緒産業です。だから北野界限の消費プラス観光に文化的情緒の蓄積が必要ですね  
若山 晴洋 ハローズガーデン側代表  
なにもないところから出発した

北野の街は、ムダを大切に、ムダを積み重ねていき、そして新しい街になっていきます。それは住宅、商業施設、オフィス、文化施設がバランスよく調和されている人間の街です。

菊地 吉弘 ハンペアーズ代表取締役  
北野界わいを文化財として守る

姿勢から、創造する方向に進めてはどうか。行政側でスペースを確保頂き、民間側から総合プロデューサーを抜擢して企画運営を任し北野町をイメージアップする商業空間を創ることを提案したい。

大村 幸一 ハセント・ジョージ・ジャパ  
ン社長  
絵になる場所としての北野町を

いかに持続させるかが問題だ。店がどんどん増え、店の仲間が集まって、お客様が楽しめるような北野町づくりを心がけたい。横浜の元町のように週末に気さくに歩け

るような雰囲気育てていきたい

山崎 良平 ハビストロ・ドゥ・リオン  
7年前いままの店を始めた頃と様

相は一変した。最近の風見鶏ブームはわざとらしくて嫌いだ。北野は北野の能力とキャパシティを知るべきだ。フランスのサントノーレのような町になってファッションももっと本格的なものがほしい  
赤木 清士 ハ北野らんぶ館  
技術文明が進歩すればするほど

人間はいろいろな悩みにつきあたり、心理的な余裕を持てる環境が必要だと思う。その環境づくりのために古き良き時代の手作りの歴史を大切にすると共に、北野町という風土景観を保存していきたい  
平田 和子 ハ帽子デザイナー  
土・日曜に絵かきさんが絵を並

べられるような余裕のスペースができて、モンマルトルのように芸術的な香りがただよう町になればと思う。ブティックが増えていくが、オーナーのセンスがひとめでわかる個性的な店であってほしい  
植木 督 ハ神戸コレクショナリー  
北野町の商店街としての意見統

一は難しいが、全体的な方向性は持つべきだと思う。今後の発展を考えると、足の確保がポイントになると思う。異人館があり外国人

が多いという特色を生かして程度

の高い北野文化を作ってみたい

美木 剛 ハジャン・ムランオーナ  
舗道が整備され街並はきれいに

なった。今後は文化的な意味での発展を願って、北野町を訪れた人や住民たちがゆったり寛げる広いスペースの公園、その中に多彩な催しが絶えずあるような小ホールが出来れば素晴らしいと思う。

打間奈津子 ハバビロンタワーズ  
北野町は全体としてのまとまり

がないと思う。まずグループづくりが必要だ。そして、大きなイベント。それによって人を引きつける。何よりも人が流れ活気のある町にすることが大切だ。地元の人

の意気込みが望まれると思う。

福野 輝郎 ハキタノサカスオーナー  
通りを大事にしたいですね。人

は常に見られていることによって鍛えられ洗練されるもので、歩く人たちを眺められるテラスなどを多く作り、歩く人たちは視線を感じる主役となって、遊ぶ空間としての通りにしたいですね。

東郷 武久 ハサムホール・オーナー  
北野はモノを考え、表現できる

街です。提案しながらモノを売るといふ環境のある街です。このカルチュアがおう街には、コンサ



ートや発表会が気軽にできるコミュニティ・ホールのようなものも欲しいですね。

船橋 雅人<sup>ハフミア</sup>北野坂マネージ

異人館観光に地元の若者は来ないんです。買い物だけの魅力でなく、小さなコンサートやフアッションショーや地元の人達が楽しめるイベントを催せる文化施設が、

## 見て、食べて、遊んで、楽しいシヨッピングのできる街に

浅木 幸雄<sup>ハアサキ</sup>インターナショナル

社長<sup>V</sup>

現在の北野はフアッションナブルな若者の街だが、そこにシツクさを入れてほしい。観光客めあての店がふえたが、北野は付加価値のある町だ。薄っぺらいものでごまかさず、神戸の人も魅力を感じる店をつくってほしい。

木下 章夫<sup>ハキミ</sup>真珠代表取締役<sup>V</sup>

12月から新社屋の一階でオーダーサロン、小売を始める。町には独自の雰囲気と賑わいとパワーがないとダメだ。北野も強烈な印象を与える町にしないと、やがてあきらめてしまう。私も町の雰囲気に合った小売の展開を考えている

岡添 幸子<sup>ハカミ</sup>栄光宝飾株式会社取締役<sup>V</sup>

神戸は真珠の街。そのメツカにあたる北野町で真珠に携わって26年、町に対する愛着もひとしおです。北野町らしい雰囲気をもらった他所にはない独特な専門店が増え

北野町に欲しいです。寛げるスペースとして公園があってもいい。

吉田 健一<sup>ハコワ</sup>ヒール幹人<sup>V</sup>

フアッション都市神戸のリーダーシツプ的存在が北野町。若いオーナーたちの努力により空間的にも街区的にもこのままでいけばうまくまとまるような気がする。今脳細胞を柔軟にして個性を考えな

て欲しい。紳士服飾の店が新しく出来、いい傾向だと思います。

吉谷 博光<sup>ハシラ</sup>丸井専務取締役<sup>V</sup>

異人館ブームにのって店も増えたが、「売らんかな」だけの商売でなく、北野町全体の調和を考え、ゆとりや寛ぎは失いたくない。例えば中山手店はビル化すれば儲かると言われるが、そんなことをする気は毛頭ありません。

大里最世子<sup>ハブティック</sup>魔女<sup>V</sup>

北野町は住宅街の雰囲気と異国情緒が溶けあった最も神戸らしい街。お洒落をして人が集まりオリジナリティな洋服は北野でしか買えない、という魅力を醸だし、より密度の高いフアッションが楽しめる街になって欲しい。

蔵本 和憲<sup>ハバン&ケント</sup>SHOP店長<sup>V</sup>

北野町に来てまだ一カ月半ですが、地元の人達がなかなかあがってきてくれないうえ、東京っぽ

おす必要があるでしょう。

渡邊 仁<sup>ハニ</sup>雑誌「ドレッシング」エディター<sup>V</sup>

土曜、日曜の原宿・表参道の惨状をみるにつけ、観光客をこれ以上寄せつけない方策でも考えてみてはどうですか。

騒々しい北野町では、何が魅力かよ、とでも言ってみたくありません。

い街だと思うけど、気どりでなく、

店同士が横の結がりをもって努力

していくべきだと思う。観光タウ

ンで終わってしまつては寂しい。

草刈 徹<sup>ハキ</sup>北野ガストロノミ店長<sup>V</sup>

北野町は、本物志向の良い物であれば、「必ず売れる」という不思議な町です。だから観光客目当てのうわつた商売じゃなく、その店の本来の良さを根強く打ちだせば、本当の商売ができると思う。それが店の個性にもつながります

岩本 文夫<sup>ハイ</sup>岩本株式会社代表取締役社長・異人板<sup>V</sup>

北野町が発展していく時に頭打ちになるのは、交通の便と駐車場不足。観光地特有のムード作りもまだまだで、地元のもっと親切的な対応が必要と思う。エキゾチックな雰囲気を盛りあげる平日や夕暮れ時の散策を楽しんでほしい。

白石 弘子<sup>ハシラ</sup>がれりあ馬車乃<sup>V</sup>

若い人だけでなく、年配の方た

ちにも満足できる、ほんとに個性的な店がある街になって欲しいですね。ハダに触れるようなもの、例えば、旅行者でも自然のなかで絵付けをして楽しめる焼き物の設備があればいいですね。

金森 博子△MOGA店長▽

北野町はもともと閑静な住宅街で交通の便もあまりよくないため商業圏として今が限界かもしれない。北野町で個性あるブティックとして存続するためには個性とポリシーが必要、そして何よりお客さまを大切にすることだと思う。

辰巳 太郎△ヘル・セラムオーナー▽

北野町には三宮でも元町でもない町としての雰囲気ができつつあるから大事にしていきたい。ロー

ズガーデン美術公募展は5回を迎えたが、今後も続けたいし、商売だけでなく生活する上でのゆとりを持った我々の姿勢を見てほしい

増田 伸二△バレットハウス店長▽

国際色豊かな住宅街であり、ファッションビルが立ち並ぶ若者の街の二面を持つ北野町は過去と未来が雑居している良さがある。だが現状はテナントが集まったに過ぎないような気がする。何かトータル的なテーマが必要だと思う。

加納 勝△リンズギャラリーCOLV

今の神戸には神戸らしさがないと、よくお客さまにいわれるのでそれには、この北野町界限しかないと思って出店し、商いを元町で憶えましたので、その良さを残し

たい。そのためには流行に流されない辛抱のいる商品で頑張りたい

藤本ハルミ△マーガレットオーナー▽

かつての異人館には、開港都市神戸に外国人がもたらした文化がありました。現在の北野町には異人館見学とショッピングしか無いのが残念です。神戸っ子が集って何かできるサロンが沢山あれば、もっと香り高い街になるでしょう

高橋 洋三△高橋兄弟商会常務取締役▽

住む限りは誇らしく思えるような街であって欲しいですね。そのために、建設的な意見をのべ合う地域グループを作り、個々の人たちの協力参加による共同意識をもって街づくりをすすめていくべきでしょう。

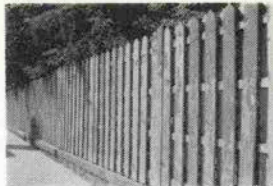




## 坂の町 北野

### ●ハンター坂

現在は王子動物園の東隣に移築されている「旧ハンター住宅」は、現存異人館のなかでは最も規模が大きい。



かつてはイギリス人のE・H・ハンターが自邸としていたが、その名をとったのがハンター坂である。邸は北野町4丁目にあった。今の異人館倶楽部のちょうど東側の坂である。

### ★北野町の高台で素敵なお会

カッブルで少しお洒落をして出かけてみませんか。美しい夜景を眺めながら味わう選りすぐりのフランス料理「ディナーコース5千円、7千円、食事の後は1階のダンスホールで音楽とダンスとドリンクをお楽しみください。」カッブルで1万円! 昼食には女性専用のクイーンズランチ(3000円、税・サ込も)ございますので、お気軽にご利用ください。クリスマスパーティ・忘年会受付中



### ★パリの雰囲気そのままに

北野界隈の異人館通りと北野坂の出会いとところにある小粋なフランス料理の店。フランスのリヨンで修業を積んだシェフが真心をこめた味づくりはすでに定評がある。ヌーベルキュイジーヌ(フランス現代料理)の粋を味わえる「おまかせコース」(6000円から)がシェフのおすすすめ料理。冬場は生がきときのこの味がひとときわびえる。

5:11:30 AM ~ 2:00 PM  
5:00 PM ~ 10:00 PM  
水曜日定休



フランス料理レストラン

ジャン・ムーレン

異人館通り ☎242-4188

### ★フランスの食文化を伝えて

料理場のことをフランスではキュイジンスと呼び、画家や彫刻家のアトリエと同様、理想にふけり作品を完成させる場所として大切にしています。フランスの文化を忠実に伝えることは至難ですが、私たちは本場と同じものを創りたいと願い、画家が絵筆を一本一本選ぶように素材や道具に心を配っています。ピストロ・ドゥ・リヨンの料理人たちは銅を磨くことから一日が始まります。

レストラン  
**Bistrot de Lyon**

山本通2-13-6 ☎221-2727  
正午~10PM 月曜定休

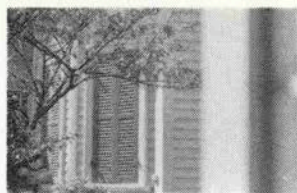


レストラン・ナイトクラブ

**北野クラブ**

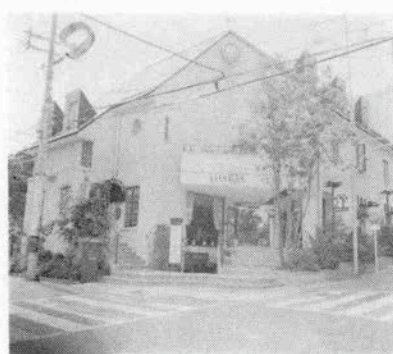
北野町1-5-7 ☎222-5123





# 異人館。坂道。そして 新しい出会いの町・北野

★北野のバラエティショップ  
ローズガーデンはショッピングとお茶を、ちよつと買ひものに、散歩の途中でちよつとどこかでひとやすみ、ちよつとしやれたひとときを。そんな時、気軽に立ち寄ってみてください。小さくてかわいいブティック、上品でシックなお店、広場、階段、緑、花……、そして楽しい仲間たちがあつまってきています。22のお店をよろしく願ひします。



★20世紀初めの英国の館  
英国館（旧フデセック邸）は、一九〇七年に英国人設計技師によつて建てられました。当館では、当時の英国人が日常使つていた家具、調度品、小物などをすべて英国人による厳密な時代考証を経て、英国から直輸入して展示をしています。当館においてはじめて当時の英国人の生活を満喫していただけます。  
入館料・大人：〇〇円、小人：〇〇円  
開館時間・10:00AM～5:00PM 無休



★神戸っ子のライフステージに  
B.F.  
バビエ シフオン 222-1176  
ハイベン 222-1176  
ブレイク 222-1176  
麻布キャンデー 222-1176  
アンリ・シャルバンティエ 222-1176  
レノマ 222-1176  
アイム 222-1176  
パレットハウス 222-1176  
ナタリ 222-1176  
サリ 222-1176  
アルファキエ 222-1176  
3F 222-1176  
ブレイク 222-1176  
モガ 222-1176  
アイマック 222-1176



Rose Garden

異人館通リ ☎222-1140

異人館倶楽部

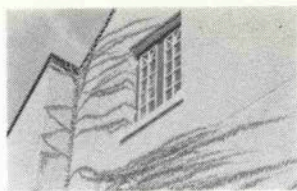
異人館通リ ☎222-1266

公開異人館  
英 国 館

北野町2丁目3-16 ☎221-2132

## ●北野坂

以前には、いろいろの筋、と呼ばれていた。最近、舗道が整備され、北野を代表する坂となっている。坂の途中には、フアッシュギャラリーをはじめ、オシャレなセンスのブティックや、小粋なレストラン、ティールームなどがズラリと両側に並んでいる。山麓から三宮の繁華街まで、一直線に上り下りができる、いわば北野のメッカである。



## ★洋服に凝る者たちの集まり

北野坂リンズギャラリーにオープンしたFASHION PLACE《COL》は、洋服に凝る人達ばかりが集まって始めた紳士服と洋品雑貨のお店。オーナーの加納勝さんは「どこにもない品を揃え、オーダーメイドを始め、うるさいお客様のご要望に答えられるように行き届いたサービスをしたい」と細やかな心づかいだ。武田則明さんがデザインしたシンプルなおインテリが印象的。



## ★アイビーボーイは大集合!

ヴァンカンパニー様の神戸では初めての直営店。アイビーファンのキャンパスボーイのためにトータルファッションが展開されている。

シャツは全て綿100%のボタンダウン、ピュアアイビーモデルのジャンパー、キャンパススポーツのジャンパーやウインドウブレイカー等、ヤングのライフスタイルに合わせて、靴や下着、小物にいたるまでVANのスピリットが息づいている。



## ★主張を持つビジネススマンに

トラディショナルな期待のケントショップが、この秋、北野町の異人館通りにお目見えした。

二十〜三十歳代のアダルトを対象にエグゼグティブなビジネスマンのためのワードローブが、落ち着いた雰囲気漂う店内に揃っている。スーツ、ブレザーを中心に、インポートのニットもあり、自分でセレクトができる主張を持った男性に著してもらいたい一着ばかりだ。



**VAN SHOP**

山本通2-14-16倉田11号館1F  
☎241-8207 11AM~7:30PM 水曜定休

**Kent SHOP**

山本通2-14-16倉田11号館1F  
☎241-8207 11AM~7:30PM 水曜定休

ファッションプレイス<コルー>

**COL** FASHION PLACE  
KITA-NOZAKA KOBLE

北野町2丁目7-18  
リンズ・ギャラリーBF ☎241-0202